



動物病院 ニュースレター 2020年8月号

皮膚病の多い季節です！

夏の動物病院では、
皮膚トラブルを抱えたワンちゃん、猫ちゃんの来院が増えます。

夏場は気温が上がり、トラブルが増えてくる時期ですので
ワンちゃん、猫ちゃんの皮膚の状態に気を付けてください。

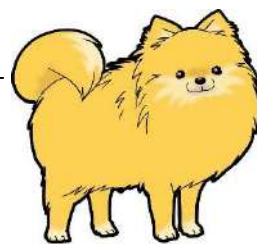


なぜ夏に皮膚病が増えるの？

その理由は3つ。

- 1.原因のひとつであるノミやダニが活動期に入る
- 2.原因のひとつである細菌やカビなどが高温多湿により増殖しやすい
- 3.暑さによって犬の被毛が蒸れやすくなり、皮脂汚れなどが溜まりやすい

以上の理由より、
夏のこの時期は犬の皮膚環境を清潔に保てるよう心がけることが大切で、
1年の中で最もこまめなケアが必須です。





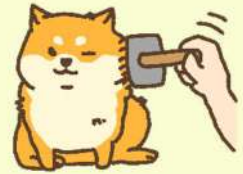
皮膚トラブルの予防方法

1. 清潔環境を保つ

ワンちゃん猫ちゃんが直接触れるベッドやおもちゃなどを洗濯、天日干しにしましょう。
ノミやダニがホコリを住処に増殖しないよう、抜け毛も掃除しましょう。

2. 毎日のブラッシング

汚れを落とすために毎日のブラッシングしましょう。
特にワンちゃんはお散歩に行った後など、
外の汚れが被毛に付着している可能性があるため、
丁寧に行ないましょう。



3. 月に1~2回はシャンプーを

皮膚環境を清潔に保つため、シャンプーが有効です。
余分な皮脂汚れも落とすことができます。

この時、シャンプーのすすぎ残しは
トラブルの原因になるのでしっかりと洗い流しましょう。

すすぎ残しが心配の人は、
シャンプーは使わずシャワーのみで洗っても良いです。
濡れた状態のまま放置すると雑菌繁殖するのでしっかりと乾かしましょう。



4. 免疫力を下げないように

動物自体の免疫力が低下したことで抵抗力が弱くなり、
菌などが繁殖してしまうケースもあります。

暑さで食欲がなくなり体力が落ちやすくなる時期なので、
食事はしっかりと与えることを心がけましょう。

皮膚トラブルは当院にご相談ください。



学べるワンニャン語クイズ



問題1：ワンちゃんを見つめると目をそらすのはなぜ？

(答えはページの下です。)

- ① 恥ずかしい
- ② 敵意はないよ
- ③ いじけています



問題2：猫ちゃんはトイレのあとに砂をかけるのが通常ですが、かけないときの気持ちは？

(答えはページの下です。)

- ① 俺は強いぞ！
- ② 片づけといてくれ
- ③ 面倒なときもあるんだ



プチ情報

赤ちゃんは犬語を理解できる？！

人間の赤ちゃんは生まれてから一度も犬と接したことがなくても、怒っている時や機嫌がよい時の犬の鳴き声を聞き分けられるということが、ブリガムヤング大学の研究で明らかになりました。



生後6ヶ月の乳児たちは怒っているときと人懐っこいときの犬の声を聞かされ、それに合った表情やボディランゲージの犬の写真を当てることができました。

出典：<https://gigazine.net/news/>

実験では、乳児にまず表情が違う同じ犬の2枚の写真を見せ、次に威嚇するような声と友好的な声のサウンドをランダムに再生しました。乳児が学習しないように、実験は1人の乳児につき1回だけ行われました。

録音された犬の声が再生されている間、生後6ヶ月の乳児の場合は鳴き声に合った表情の犬の写真を見つめ、それより年長の乳児の多くは一目見てすぐに犬の声と表情を結びつけました。

赤ちゃんは言語を身につけるよりずっと早くから、周囲の空気を読んで、それに反応することができます。

この研究結果は人間の赤ちゃんが言葉より先に感情を習得することを裏付け、赤ちゃんの驚異的な学習速度の秘けつを理解するのに役立つとのこと。

「犬が飼い主を助けるために行動する」という話は犬が人間に強い愛着を持っていることを示すエピソードとして多く語られています。

一方、犬が実際に飼い主をどれほど助けたいと思っているのか、科学的調査は行われてきませんでした。



出展： <https://gunosy.com/>

そこで、アリゾナ州立大学の研究チームが60匹の犬と飼い主を対象に実験を行い、「犬は本当に飼い主を助けたいと思っている」という結果が示されました。

実験では、飼い主が室内に置かれた箱の中に入って「助けて」と呼びかけ、箱の外側にいる犬がどのように反応するのか観察されました。

多くの犬は苦痛を訴える飼い主の声にストレスを感じ、箱の周囲で鳴いたり吠えたりしたとのことでした。

それぞれの実験で犬が見せたストレス反応についても、飼い主が苦痛を訴えていると犬は非常に大きなストレスを感じた一方で、飼い主が雑誌を読み上げている場合はあまりストレスを感じないこともわかりました。

さらに、飼い主が苦痛を訴えるテストでは、2回目、3回目の試行でも犬のストレスが減少しなかったのに対し、飼い主が雑誌を読み上げるテストでは試行を繰り返すと犬のストレスが減少することも判明しました。

雑誌を読み上げるテストでは犬が環境に順応したものの、苦痛を訴えるテストだと犬は環境に慣れることができず、ストレスを感じてしまうと研究者は指摘します。

これらの観察結果は、飼い主から犬へ「感情が伝染していること」を示すとのことでした。

研究者は今回の結果を受けて、「この研究で興味深いのは、犬が本当に人々のことを気にかけていることを示したということです。」

トレーニングを受けていなくても、多くの犬は苦痛を受けている人を助けようとします。そして犬が救出に失敗した時、私たちは犬が動揺している様子を見ることができました」

「今後は、救助することによって犬が飼い主の近くに行ける場合と、救助しても犬は飼い主に近づけない場合についても調査したいです」と述べました。

猫は「人にあまりなつかない」「構おうとすると逃げる」といったイメージを持っている方もいるようですが、オレゴン州立大学の研究チームは猫も「自分のことを気にしてくれる人になつく」ことを明らかにしました。



出展：https://gunosy.com/

人が猫を気にかけることで猫の行動が変化するのかどうかを実験するために、まず、猫を「初対面の人間」と一緒に部屋の中に入れました。

初対面の人間は半径 1m ほどの円の中に座って、床をじっと眺めて 2 分間猫を無視し続けました。

人間は猫が円の中に入ってくると 2 回だけ猫をなでましたが、言葉を発したり猫をじっと見つめたりはせず、猫がいても興味がないフリをし続けます。

無視を始めて 2 分間が経過したら、初対面の人間は猫に対して話しかけたり名前を呼んだりして、円から出ない範囲で猫との交流を始めます。

円の外に出て猫を追いかけたりすることはできませんが、猫が円の中に入ってきたら、なでたりかわいがったりしました。

研究チームは実験中の猫がどれだけ人間に近づいたのか、どれほどの頻度で鳴き声を出したのかといった要素で、猫が人間に対して示した興味の程度を判定したとのことです。

実験の結果、人間が猫を気にかけた時の方が、猫はより人間への興味を示して接触を好んだということが判明しました。

猫は自分を無視する人間よりも、自分に注意を払っている人間と一緒に長い時間を過ごしたと述べられています。

また、飼い猫よりもシェルターで保護されている猫を比較した実験では保護猫の方が初対面の人間に対して興味を示しやすいことがわかりました。

研究者はこの結果について、かつて野良猫であったという生活状況を反映している可能性があるとして指摘しています。



本の広場

動物の言葉 (ナショナル ジオグラフィック編集)



出展：<https://www.amazon.co.jp/>

コミュニケーションは、どんな動物でも生きていく上で必要です。

人は言葉で意思を伝えますが、言葉を持たない動物たちはどのような方法で意思の疎通を図っているのでしょうか。

実はすべての動物たちは、人の言語に相当するコミュニケーション手段を持っており、人が想像できないほど豊富な情報交換を行っていることが明らかになってきました。

動物のうなり声や鳥のさえずりは、従来は単なる感情の表現と見られていました。

しかし実際には自分が今感じていることではない何かを、意志を持って伝達しようとする「リファレンシャル(対象指示)コミュニケーション」が多く含まれることがわかってきました。

こちらの本では、動物のコミュニケーション能力に関する最新の研究結果を、豊富な写真やイラストを使って分かりやすく解説してくれています。

**世界中の注目を集める研究結果を
楽しめる雑誌です。**